

秋田県理学療法士会ニュース



第179号
2017年11月15日発行

発行：公益社団法人 秋田県理学療法士会
会長：菅原 慶勇 編集：加賀屋勇氣 印刷：株秋田情報プリント
事務局：〒010-0921 秋田市大町1丁目2-40
TEL・FAX 018-867-1804 E-mail akitapt-home@ptakita.org
ホームページ <http://www.ptakita.org>

*シルバーリハビリ体操にせまる

*専門領域研究班

始動の一年 次の一年

*応援フェア&公開講座

秋田県理学療法士会
Akita Physical Therapy Association

11

2017

Nov.

Dec.

12

*僕らの職場紹介します
—わたなべ整形外科—
*部長便り&会長のうごき

*マイブーム

This Month's Special Feature

茨城発 超高齢時代の介護予防

シルバーリハビリ体操 にせまる



今年の理学療法週間イベントでは、前号のニュースでも取り上げたように、従来のイベントに加えて「シルバーリハビリ体操」について、大湯リハビリ温泉病院の大田健太郎先生にご講演いただきました。シルバーリハビリ体操とは、自分自身で体操を行う「自助」と、お互いに助けあう「互助」によって、QOLの向上を目指す茨城県独自の「住民参加型」介護予防推進施策として始まり、今や全国に広まっています。日本理学療法士会でも推進している、このシルバーリハビリ体操を、今回は、実際に茨城県で研修を受けてこられた、大館市立総合病院の柏木智一先生にご紹介いただきます。

日本理学療法士協会から要請され、今年の2月、3月に各都道府県から2名の理学療法士が都道府県コーディネーターとして茨城県で研修会に参加してきました。秋田県では私と市立大森病院の井上先生が参加してきました。内容は、10年以上前から茨城県で行われている介護予防事業であるシルバーリハビリ体操について学んできました。そこで、シルバーリハビリ体操の内容について、簡単に説明致します。

シルバーリハビリ体操は、簡単に言うと障害をおっても、年をとっても、人間らしく暮らし、最期まで人間らしくある、そのための体操です。具体的には、住民が住み慣れた地域での生活を維持するため、活動能力の維持および、自助・互助力の向上を目的として、住民自身を体操指導士として養成し、彼らが主体となった健康作り・介護予防事業を行います。体操の指導者はその地域の住民です。住民が住民を育てることになります。また、地域毎に行われているご当地体操を否定するものではありません。ご当地体操との共存も可能です。

シルバーリハビリ体操の特徴

- ① 肩痛・膝痛・腰痛・転倒予防に役立つ
- ② 人生最期の介護に役立つ
- ③ どのような姿勢でもできる

シルバーリハビリ体操によって、体操指導士が多くなると要介護認定の認定率が下がること示されており（右表：指導士養成数と軽度要介護認定者の割合）、現在、茨城県ではシルバーリハビリ体操指導士が8000人以上おり、各地で活躍されています。また、茨城県以外にも日本各地で実施されています。隣県では岩手県でも数年前から開始されています。また、秋田県においても今年度から鹿角市で開始されました。

シルバーリハビリ体操指導士、行政、リハビリテーション専門職が一体となって率先して取り組む活動をすることで、地域における各種ネットワークの再構築につながり、誰もがその人らしく安心して生きていけるまちづくりの基盤となります。簡単ですが、こちらがシルバーリハビリ体操の説明になります。

（文責 大館市立総合病院 柏木智一）



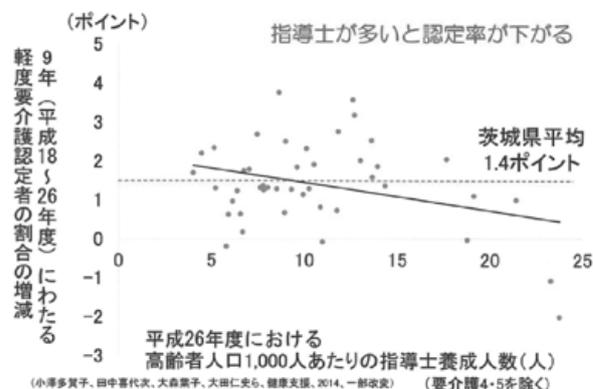
シルバーリハビリの様子（茨城県立健康プラザ HPより）
<http://www.hsc-i.jp/index.htm>



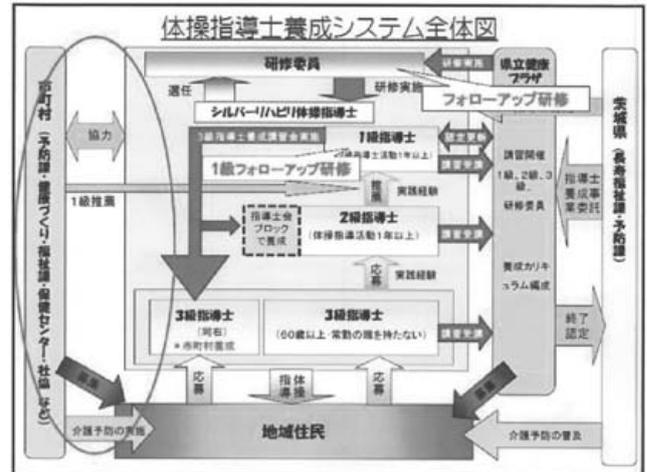
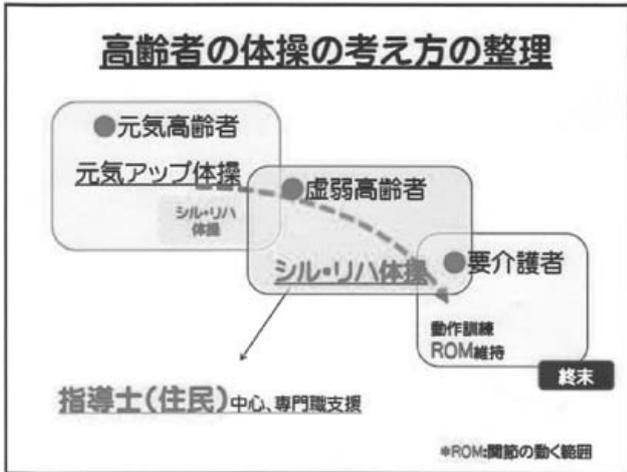
立案者である大田 仁史氏（茨城県立健康プラザ管理者
茨城県立医療大学付属病院名誉院長）
（日本理学療法士会 HPより）

http://www.japanpt.or.jp/general/tools/pr_magazine/egao23.html

指導士養成数と軽度要介護認定者の割合



シルバーリハビリ体操指導士数が増えるほど、要介護認定者の割合が低下する。すなわち、自助と互助の力が働き、シルバーリハビリ体操の活動が活発な地域では、健康で自立した生活を送る高齢者が多いことを示している。



シルバーリハビリ体操の概念は、単に「運動をして元気に過ごそう」というものではありません。その大きな特徴として、「自助」、「互助」の力を最大限に利用し、「最期まで人間らしい姿を保つ」ことを目的にしている点があります。単に健康維持を目的とせず、「自分の尊厳は自分で守る」というテーマは、まさしく、リハビリテーションの考えそのものです。これからますます高齢化が進んでいく我が国、そして秋田県において、求められるモデルケースのひとつが、このシルバーリハビリ体操の取り組みであることは間違いありません。

What is “シルバーリハビリ体操指導士”?

シルバーリハビリ発祥の茨城県では、「茨城県民で、常勤の職員についていない満60歳以上の方で、地域で体操普及のボランティアができる方」を対象として、シルバーリハビリ体操指導士の養成講習会が開かれています。地域での活動実践を行う**3級指導士**（6日間30時間の講習）、地域活動のリーダーとなる**2級指導士**（5日間25時間の講習）、さらに解剖学・運動学・心理学・栄養学等の知識にも広く精通し、**3級指導士養成インストラクター**としても活躍する**1級指導士**（4日間20時間の講習および6日間30時間の実習）に段階的に分かれています。右上の図が示す通り、地域住民が3級指導士から段階的にステップアップするシステムになっています。

シルバーリハビリ体操指導士養成目標



シルバーリハビリ体操における理学療法士の役割は？

理学療法士は、シルバーリハビリ体操指導士を育成する講習会の運営をリハビリテーション医、保健師、作業療法士、トレーナーらとともに進めています。また、研究を通して、活動の有効性を示していくことも理学療法士の重要な使命と考えられます。

実際に、理学療法士によるシルバーリハビリに関する研究も行われており、指導士になるための研修を受講した人がその前後4週間で比較すると、握力、生きがい感アンケート K-I 式が有意に増加し、POMS2[®] 短縮版の「怒り-敵意」が有意に低下するという興味深い結果も出ています（積山和加子ら、理学療法科学 32(5), 2017）



日本理学療法士協会の広報誌、「笑顔をあきらめない。」のNo.23（2017年6月発行）でも、特集「介護予防体操～シルバーリハビリ体操と理学療法士～」と題して、シルバーリハビリ体操の生みの親である大田 仁史氏（左ページ写真）と、当会の半田 一登会長、齊藤 秀之副会長による対談が掲載されています。ぜひこちらの併せてご覧ください。
HP：http://www.japanpt.or.jp/general/tools/pr_magazine/egao23.html

専門領域研究班

始動の一年 次の一年

今年度から本格始動を始めた専門領域研究班。各領域別の研究会活動と、研究班会議が並行して行われて来ました。少し早いですが、各研究班から、今年の活動の振り返りと、来年の活動へ向けてのコメントをいただきました。

神経系理学療法研究会

中通リハビリテーション病院 福原隆志

「あの病院には、どんな疾患・状態の患者が多いんだろう？」
「うちの病院で行っている理学療法って、他と比べてどうなんだろう？」
「他の病院のPTはどのような治療を行っているんだろう？」

当研究班では、神経系疾患への理学療法について客観的な効果検証を行うため、手始めに誰もが一度は感じるであろう以下の疑問について検証をすすめています。

【今年度の活動概要】

(1) 秋田市内における回復期病棟の実態調査

秋田市内3病院（脳研、御野場、中リハ）の回復期病棟入院患者を対象とし、基本情報や経過について実態調査を実施。また、日本リハビリテーションデータベース協議会の協力を得て、全国の回復期病棟との比較検討を行った。

(2) 最新の脳卒中ガイドラインの翻訳

2016年にAHA/ASA（米国心臓協会/米国脳卒中協会）より発表された脳卒中ガイドライン（Guidelines for adult stroke rehabilitation and recovery）を翻訳し、エビデンスに基づいた最新の脳卒中のリハビリテーションについて調査、臨床での実際について検討を行った。



神経班は毎月会議を重ねてきました

※今年度の活動内容について、12月3日（日）に開催する第1回神経系理学療法研究会にて報告します（会場：中通総合病院）。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

運動器理学療法研究会

秋田大学医学部附属病院 渡邊基起

これまでに運動器理学療法研究班では2回の研修会を行いました。1回目は当研修班の紹介および症例検討、2回目は医師による人工膝関節全置換術の手術方法の講義の内容でした。今年度はもう1回年明けに研修会を行う予定です。次年度の研修班では、1) 触診や整形外科テストの実技研修、2) 医師による講義、3) 症例検討会の3回を考えています。その他に学会発表や論文作成の支援は今まで通り随時行います。実技研修では、精確に触診する技術や治療対象を理解する上で重要なテストを全員で確認していきたいと思えます。症例検討では、「こんな症状に〇〇をやってみたら良かった」や「こんな症例、みなさんならどうしますか」など正解を求めるのではなく様々な視点から考えられる思考過程を身につける内容にしていきたいと思えます。少しずつ会員の皆さんと勉強していける会にしていきたいため、ご興味のある方はいつでもご連絡ください。

連絡先：akitamptg@gmail.com

運動器理学療法研究班 事務局 渡邊基起



第1回の研究会の様子（秋田大学医学部附属病院）

呼吸理学療法研究会

市立秋田総合病院 川越厚良

呼吸グループの川越（かわごし）です。今年度の活動としては、会員の皆様のご尽力のおかげで現在まで2回の研修会を開催させていただきました。内容は各先生のご研究の演題発表に加え、病院で行っている取り組みの紹介や帝人ファーマ株式会社様から新しい酸素療法についてご紹介いただきました。研修会の際はご参加いただいた先生方から貴重なご意見をいただき、当グループに必要とされる活動についての重要なヒントを得ることができました。そのご意見の中には、①呼吸ケアにおけるチームの役割、②生活期における呼吸ケア、③吸入指導や栄養指導といった関連領域、④呼吸器疾患に特有なアセスメント・介入方法といった要望を頂きました。次回の第3回研修会は、皆様ご意見の一端を踏襲する内容を目指した勉強会の第1弾となります。急性期・回復期・生活期のいずれの時期においても呼吸ケアを行える、または始められることを目的としておりますので、奮ってご参加いただければと思います。我々のグループでは、今後とも皆様のご意見を踏まえた活動を中心に展開して参ります。呼吸器領域に従事する、もしくはご興味のある方は是非ご加入ください。



第一回研究会の様子(秋田大学)

循環器理学療法研究会

秋田県立脳血管研究センター 加賀屋勇気

当研究会は、6月3日に秋田リハビリテーション学院にて、今年1回目の会を開催しました。「リスク・重症度の見分け方」、「運動処方～ATってなんだろう」、「運動療法 update」というテーマで3つの講義を行い、さらに症例検討トークセッションを設け、参加者を交えて、実際の症例への対応を議論しました。また10月に行われた日本心不全学会学術集会では、「地域包括ケア時代の心不全チーム医療」というテーマのパネルディスカッションに、私がパネリストとして登壇させていただきました。その際の発表内容は、研究会のコアメンバーで検討し、発表においても研究会の活動を一部報告させていただきました。このセッションへ声をかけてくださいました東京工科大学の高橋哲也先生とは、コアメンバーでお話をさせていただく機会もいただき、今後の研究活動についての助言をいただきました。今後の活動に向けて大きな収穫となりました。

さて、次回は1-2月頃に呼吸理学療法研究会と合同での開催を検討しております。また、来年には、来る心リハ学会にむけての予演会(7月頃)や、症例検討会(冬)を検討しております。さらに多施設共同研究も進めていく予定であります。秋田の心リハを盛り上げ、さらに秋田発信のエビデンスを構築していけるよう邁進して参ります。心リハを担当されている方、循環器に興味のある方はぜひ、当研究会に参加して、ともに学び、秋田の心リハを盛り上げて参りましょう。



高橋哲也先生とともに(心不全学会にて)

老年期理学療法研究会

市立秋田総合病院 岩倉正浩

当研究会では、12月12日(火)に第二回老年期理学療法研究会を開催する予定です。第二回の研究会では、「栄養」をテーマとして管理栄養士の方を講師としてお招きし、病院などでの業務内容や栄養サポートチーム(NST)の活動内容などをご講演いただく予定です。加えて、栄養の評価・介入の基本的事項をご紹介します。

栄養は、サルコペニアやフレイルと密接に関連します。また、栄養状態を考慮しない運動療法はかえって筋肉量の低下を生じさせてしまう可能性もあります。よって、理学療法士が栄養に関して一定の知識を得ることは、安全かつ効果的に運動療法を行うために重要であると考えられます。日本理学療法士学会でも、栄養・嚥下リハビリテーション部門が新設され、今年の9月には栄養理学療法という言葉が、以下のように定義されました。

栄養理学療法：「対象者の機能・活動・参加、QOLを最大限高めるために、栄養障害、サルコペニア、栄養摂取量の過不足を把握した上で、状況に適したゴールを設定し、理学療法を実践するものである。それにあたって、理学療法士は管理栄養士などの多職種と栄養評価や理学療法評価を共有し、活動量、筋緊張、不随意運動などを考慮した栄養管理と栄養理学療法を検討する」

第二回の研究会が、会員の皆様の栄養に関する基礎知識の復習と今後のより専門的な勉強のきっかけになれば幸いです。後日、改めて日程の詳細をご案内いたしますので、奮ってご参加ください。

また、当研究会では来年度の事業としてフレイル・サルコペニアに関する調査研究を計画しております。こちら、追って詳細をご報告させていただきます。この調査研究には、会員の皆様のお力が不可欠ですので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



岩倉氏と、コアメンバーミーティングの様子

10/14-15 in アゴラ広場

めざせ健康寿命日本一! 応援フェア

11/3 in ALVE

市民公開講座

テーマ 地域で元気に暮らすために
～動く・考える・食べる～

秋田県士会では、この秋、市民に向けたイベントへの参加・開催を精力的に行ってきました。その一部となりますが、10月14・15日に、アゴラ広場で行われた「めざせ健康寿命日本一！応援フェア」にて運動体験・啓発ブースと、11月3日に、ALVEで行われた市民公開講座の様子をお伝えします！



「めざせ健康寿命日本一！応援フェア」は、ギョッとあきた！週末イベントリレーのひとつとして開催されたイベントで、「10年で健康長寿日本一！」を合言葉に、生涯にわたって元気で健やかに暮らすため、適切な生活習慣や自分の身体のことを、体験を通して知ることができるという企画です。健康と身体活動の専門家である我々、理学療法士にドンピシャリの企画です。10月の半ばの秋田市は、すっかり冷え込み、寒空の下での開催となりましたが、多くの市民の方々がブースにお立ち寄りくださりました。その様子はテレビでも放送されましたので、ご覧になった方も多いかもかもしれません。テレビでは秋田大学の若狭正彦教授がブースの紹介をしてくださいました。体操レクチャーをしているのは、飯坂翔吾先生（つつみ整形外科）と福井智子先生（由利組合総合病院）です。こちらは時間内に1回の開催予定でしたが、好評につき3回行いました！

11月3日にALVE きらめき広場で行われた第3回地域包括ケア講演会 市民公開講座では、地域住民を対象に、菅原慶勇会長によるご講演や、身体機能測定・健康相談、腰痛体操指導が行われました。作業療法士会、言語聴覚療法士会にもご協力いただき、認知機能・嚥下に関する講演、ブースも開催され、賑わっていました。開始の30分以上前から、たくさんの方がブース入口で待っており、地域で暮らす方々の健康・運動への意識の高さを伺い知ることができました。私は腰痛体操のブースを担当していましたが、「実は腎臓の手術を受けたんだけど、この体操はやっても大丈夫でしょうか？」、「膝の伸びが悪くなってきて、資料のように体操できないんだけど、どうしたらいいかしら？」といった類の質問を多くいただきました。当然ながら病院の外であっても、病気や痛みを抱えて生活している方がたくさんいらっしゃる、そうした方々のニーズに答えるためには、疾患・障害を専門的に見ることで私たちが理学療法士が地域・予防の分野でもっとその力を発揮していく必要があると改めて感じました。（文責：加賀屋勇氣）



←今年には多くのイベントに足を運び、アンケート調査を続けている調査班の活動もいよいよ大詰めです。お疲れ様でした。来年の秋田学会で結果を報告予定です。発表がととても楽しみです



地域で元気に暮らすために ～動く・考える・食べる～

ぼくらの職場 紹介します!!

-Introduction of our team-

いつも転院申し送りしているけど、知っているようで知らないあの病院、あのリハ科… どんな理学療法士がどんなことしてるの?? そんな疑問に答えるべく、自分たちの病院・チームを紹介していくコーナーです!



第14回は「医療法人京回生会わたなべ整形外科」です!

それではわたなべ整形外科のみなさん! ご紹介をお願いします!

—はい!近藤健人が当院について紹介させていただきます!

〈私たちが働く病院は…〉

地域の皆様のかかりつけ医を目指し、医療法人京回生会を経営母体として、平成16年に能代市に開設しました。介護老人保健施設ケアネットのしろも併設されています。

米代川に架かる能代大橋を越えてすぐ、能代厚生医療センター様の向かいに当院があります。

関連病院でもある京病院をはじめ、近隣の病院との連携も密に行っております。

〈リハビリ対象疾患は…〉

主に変性疾患や、脊椎疾患、肉離れなどの外傷、学生のスポーツ障害等の整形外科疾患を対象にしています。小さなお子様や部活動終わりの学生、仕事終わりの方や高齢者の方まで幅広い年齢層の方々に対して、運動療法や物理療法をおこなっています。

〈理学療法士の人数は…〉

理学療法士4名、助手3名

〈私たちの病院のここが“ウリ”です!〉

- 設備が充実しています。温熱、赤外線、超音波、過流浴、電気（広帯域多重複合波、低周波、EMS）、牽引などの物理療法機器や、トレーニングマシンがあります。
- 学生のスポーツ障害・外傷に対する運動療法を行っています。ストレッチなどの日々のセルフケア方法や、トレーニング方法、動作指導、テーピングの実施、指導を行っています。
- 中高年の方に多い足底筋膜炎などの足部障害、足部アライメントの崩れによって諸症状を有している患者様に対して個別にインソールの作製を行っています。



(病院紹介者：近藤健人)

部 長 だ よ り

委 員 会

●学会準備委員会

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、毎年3月に開催しておりました、秋田県理学療法士学会は、次回の第23回学会から、6月の開催に時期が変更となることが決定いたしました。そのため、今年度の学会開催はなく、来年度の平成30年6月の開催予定となりました。

現在、趣意書・開催要項の作成が進み、理事会からも承認が得られましたので、会員の皆様へのお知らせも、近々可能になるかと思っております。申し訳ございませんが、もうしばらくお待ちくださいませ。

以下、現在予定している日程と大会テーマです。

なお、演題募集に関しては、来年の1月～2月頃から開始する予定でおります。学会開催時期の変更にもない、演題募集の期間も変更となります。演題募集期間に関しては、時期が来ましたら、別途会員の皆様にご案内をいたします。お早めのご準備をよろしくお願いいたします。

多くの会員の皆様からの演題登録を、学会長はじめ学会準備委員会一同、心よりお待ちしております。何かとご多用のことと存じますが、秋田県理学療法士学会をより発展させるため、何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

●第23回秋田県理学療法士学会 予定

【会 期】平成30年6月23日（土）

【テーマ（仮）】「集中治療領域における早期リハビリテーション
－長期予後を見据えて理学療法士にできること－」

【学 会 長】 初山 日出樹（秋田リハビリテーション学院）

【準備委員長】 富田 浩輝（秋田リハビリテーション学院）

※ 学会終了後には、総会及び、新人歓迎会が予定されております。

秋田県理学療法士協会の発展のため、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

●地域包括ケアシステム推進委員会

○今後の予定

【「地域包括ケア推進リーダー」導入研修会】

期 日：平成29年12月9日（土）9：30～16：30（受付開始9：00）

会 場：中通総合病院 西棟7階会議室

講 師：鈴木克昌氏（地域密着型特別養護老人ホームうぐいす城東）

参加費：無料

申し込み先：大場みゆき（中通総合病院 理学療法室）(n-rehabu@meiwakai.or.jp)

【「介護予防推進リーダー」導入研修会】

期 日：平成29年12月10日（日）9：30～16：30（受付開始9：00）

会 場：中通総合病院 西棟7階会議室

講 師：田安義昌氏（中通リハビリテーション病院）

佐藤孝憲氏（中通リハビリテーション病院）

参加費：無料

申し込み先：大場みゆき（中通総合病院 理学療法室）(n-rehabu@meiwakai.or.jp)

第1回神経系理学療法研究会 開催のお知らせ

日 時：平成29年12月3日（日）10：00～12：00（受付9：30開始）

場 所：中通総合病院 7階大会議室

プログラム1：秋田市内における回復期病棟の実態調査報告（脳研×御野場×中リハ×全国）

プログラム2：脳卒中ガイドラインにみる最新の知見（感覚器・運動器の機能・活動に着目して）

お問い合わせ先：akita.neuro.pt@gmail.com（中通リハビリテーション病院 福原隆志）

秋田県呼吸理学療法研究会 第3回研修会

「臨床における呼吸理学療法の評価と実践」のご案内

※締切が変更になりました！！新しい締切は23日です！

このたび秋田県呼吸理学療法研究会では本年度第3回目の研修会を下記の日程にて開催する運びとなりました。本研修会では、理学療法士が臨床で実践できる評価・治療手技をテーマに急性期から維持期まで幅広い臨床場面で活用できる内容と致しました。前半では評価やリスク管理、運動療法についての知識を整理し、後半は実技を交えた実践形式の講習で構成しており、臨床ですぐに汎用され得る内容となっております。ご多用中とは思いますが、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。会員外であっても興味のある方がいらしたら、是非お声がけください。

日 時：平成29年11月25日（土曜日）13：30～17：00

会 場：国立病院機構あきた病院 大会議室

内 容：13：30～14：10 「現場でできるリスク管理とフィジカルアセスメント」

川越 厚良氏（地方独立行政法人市立秋田総合病院）

- 14：10～14：50 「運動療法と患者教育」
齋藤 嘉彰氏（大館市立総合病院）
15：00～16：50 「呼吸理学療法実技演習（呼吸助法と気道クリアランス法）」
菊地 和人氏（国立病院機構あきた病院）
16：50～17：00 総括

- *参加費：無料
*出席される方は11月15日（水）23日（木）までに下記E-mailまで参加の申し込みをお願いします。
*当日は動きやすい服装でお越しください。

申し込み・お問合わせ先：地方独立行政法人市立秋田総合病院 リハビリテーション科 川越厚良
〒010-0933 秋田市川元松丘町4番30号
TEL：018-823-4171 FAX 018-866-7026
E-mail akita.respi.pt@gmail.com

研 修 部

●生涯学習班 平成29年度新人教育プログラムについて

期 日：平成29年12月2日（土）

会 場：秋田リハビリテーション学院

内 容：12：30～ 受付

13：00～14：00 <必須研修 A-3>「リスクマネジメント」
菊地 由夏氏（平鹿総合病院）

14：00～15：00 <理学療法の基礎 B-2>「クリニカルリーズニング」
小原 一葉氏（秋田厚生医療センター）

15：00～16：00 <理学療法における人材育成 E-2>「コーチングとティーチング」
佐藤 陽介氏（湖東厚生病院）

16：00～17：00 <理学療法の専門性 D-2>「生涯学習と理学療法の専門領域」
伊藤 雄平氏（秋田厚生医療センター）

受講料：1 講義300円

備 考：①事前申し込みを施設で取りまとめ、11/24 まで下記E-mailアドレスにお願いします。

②公益社団法人日本理学療法士協会会員証をお持ちの方は、受付にて使用しますので、必ず持参して下さい。

③新人教育プログラム修了者も受講できますが、専門・認定理学療法士を受験または更新するためのポイントには認定されません。

お問合わせ先：伊藤 雄平
秋田厚生医療センター リハビリテーション科
〒011-0948 秋田市飯島西袋1丁目1番1号
TEL 018-880-3000（内線2159）
E-mail:akriha@akikumihsp.com

会長のうごき

9月

- 9月1日(金) 湯上市長寿社会課地域包括センター長と懇談；花田地区長同席（湯上市）
9月2日(土) 中央ブロック研修会参加（秋田市）
9月4日(月) 秋田県介護人材確保対策事業講師（秋田市）
9月6日(水) 介護予防教室講師(秋田市)
9月6日(水) 第一回秋田県高齢者対策協議会高齢者介護部会参加(秋田市)
9月8日(金) 3役会議（秋田市）
9月9日(土) ねんりんピック秋田2017当会ブース参加（秋田市）
9月12日(火) ねんりんピック秋田2017閉会式出席（秋田市）
9月12日(火) 秋田県介護人材確保対策事業講師（秋田市）
9月14日(木) 介護予防教室講師(秋田市)
9月17日(日) 第56回秋田県高等学校新人陸上競技大会トレーナー参加（秋田市）
9月20日(水) 秋田県介護人材確保対策事業講師（秋田市）
9月22日(金) 日本理学療法士協会課題解決型高度医療人材育成検討委員会ならびに会員制度検討委員会参加（東京）

- 9月26日(月) 湯上市障害者総合支援法に関する審査会参加（湯上市）
9月30日(土)～10月1日(日) 秋田呼吸リハビリテーション懇話会アドバンスコース講師（秋田市）

10月

- 10月2日(月) 職場の健康づくりに関する講習会講師（横手市）
10月6日(金) PT養成校実地調査（北海道）
10月7日(土) 日本理学療法士協会WCPT研修会並びに懇親会参加（東京）
10月8日(日) 日本理学療法士協会平成29年度組織運営協議会参加(東京)
10月11日(水) 第4回秋田県士会理事会参加(秋田市)
10月12日(木) 介護予防教室講師(秋田市)
10月14日(土) 目指せ健康寿命日本一！応援フェア参加（秋田市）
10月20日(金) 第17回東北地区介護老人保健施設大会参加（秋田市）
10月21日(土) 日本理学療法士協会管理者指定研修会講師（秋田市）
10月25日(水) 秋田県介護人材確保対策事業講師（秋田市）



秋田労災病院

渡部 雄樹 先生

今回、中通総合病院の成田研先生からマイブームの依頼が来たとき、私は断りましたが、「もう原稿送るからよろしく」と私の了解を得ることなく一方的に電話を切りました。そのため仕方なく原稿を書くことになってしまいました。この依頼の仕方、態度に徐々に殺意を覚えました(笑)。次私に会う時は気を付けて下さいね(笑)。

マイブームと言われても何もないので、自分の好きなものを簡単に紹介して終わりたいと思います。読書とアメカジです。

まずは読書についてです。PTの専門書は全くと言っていいほど読みませんが、小説や漫画はよく読みます。最近、読んだ本をいくつか紹介します。

著者：五十嵐貴久

「リカ」

リカと名乗る女性ストーカーの話。面白半分で出会い系に潜入し、そこで出会った女に監禁され、殺されかける話。

「リターン」

リカの続編。また新たなターゲットに狙いを定めたりカVS女刑事の殺し合いの話。

著者：菅田哲也（ストロベリーナイトなど姫川玲子シリーズが有名）

「ジウⅠ～Ⅲ」

警視庁特殊犯捜査係[SIT]、警視庁特殊急襲部隊[SAT]、新世界秩序[NWO]から成る3部作。女性警察官2人の主人公と主犯ジウを要する巨大犯罪組織「新世界秩序」との戦い。

「歌舞伎町セブン」

歌舞伎町に迫る脅威、巨大歓楽街に生きる人々の絆と戦いを描くサスペンスアクション。戦慄のダークヒーロー小説。

「歌舞伎町ダムド」

ジウの生まれ変わりと呼ばれる怪物<ダムド>が再び街を血に染める話。殺戮のカリスマVS新宿署刑事VS私設暗殺集団による死闘。

「ケモノの城」

ある街で起きた監禁事件。警察に逃げ込んできた少女の証言に振り回されながらも事件を解決できるのか？電気ショック、指潰し、ツメ剥ぎ、人体の解体など圧倒的な描写力はグロさ100%。

著者：知念実希人

「仮面病棟」

療養型病院にピエロの仮面を被った強盗犯が籠城する話。事件に巻き込まれた外科医が閉ざされた病院内で心理戦を繰り広げる。

「時限病棟」

病院に監禁された男女5人がピエロからのミッションを解き、拉致された理由、謎の死の真相を掴み脱出できるか？タイムリミットは6時間。

「屋上のテロリスト」

自殺しようとしていた少年が、学校の屋上で1人の少女に「バイトしない？」と言われ、少女の壮大なテロ計画に巻き込まれていく話。

次に漫画です。

「亜人」 死なない人間の話

「いぬやしき」

主人公のじじいがいろいろな人を助ける話

「双亡亭壊すべし」

あらゆる手段を使って双亡亭をぶっ壊す話

「ONE PUNCH MAN (ワンパンマン)」

主人公がワンパンチで敵を木端微塵にする話

「今夜は月が綺麗ですが、とりあえず死ね」

相手を好きすぎて殺したくなる話

「グラゼニ」 野球の金の話

「バトルスタディーズ」 野球の話

他にもいろいろな本を読んでいます。今回は一部のみ紹介させて頂きました。今後も読書は続けていきたいと思っています。ちなみにアメカジも大好きです。

今回のバトンは、鳳鳴高校の先輩である「若狭先生」に渡したいと思っています。先輩、よろしくお願い致します。



ニュース編集班より

ニュース編集班班長の加賀屋です。今号のニュースはいかがだったでしょうか？ニュースへのご意見・ご指導など下記連絡先までお寄せいただけると幸いです。

次回ニュースの原稿締め切りは12月25日（月）です。載せたいニュース、写真などありましたら、ニュース編集班までお寄せください。

「マイブーム」を依頼された秋田大学の若狭正彦先生も、この期日までにご自身の写真つきの原稿を送付して下さるようお願いいたします。(1,000~1,500字程度)

連絡・送付先：akita.ptnews@gmail.com

問い合わせ先：秋田県立脳血管研究センター 機能訓練部 加賀屋勇気

Tel：018-833-0115 Fax：018-833-2104 E-mail：kagaya-yuki@akita-hos.or.jp

学校法人 コア学園 厚生労働大臣指定・秋田県知事認可校

秋田リハビリテーション学院

平成27年4月開校
秋田県初！
理学療法士養成専門学校

理学療法学科

4年課程

40名定員



〒010-0065 秋田市茨島一丁目4-80
TEL 018-865-0188 FAX 018-864-6137 URL <http://www.core-akita.ac.jp/arc/>

●応援します！医療と福祉を確かな技術で

有限会社 共栄メディカル

●総合医療機器 ●理化学器械 ●福祉用具レンタル ●介護用品 ●厨房設備機械 ●業務用洗濯機械

〒014-0102 秋田県大仙市四ッ屋字水木田33
〒010-0964 秋田市八橋鍛冶1-35 サニーハイツ102

TEL 0187-66-2123 (代)
FAX 0187-66-2139
☎ 0120-971-294

信頼の医療機器

株式会社 秋田医科器械店

代表取締役 佐藤 俊介

本社 〒010-1423 秋田市仁井田字中谷地30-2
Tel.018-839-3551(代) Fax.018-839-3546

本荘営業所 〒013-0064 横手市赤坂字大道向2-4
Tel.0182-32-8311(代) Fax.0182-32-8313

能代営業所 〒016-0014 能代市落合字上釜谷地189番
Tel.0185-52-0024(代) Fax.0185-54-7319

生体現象測定装置・FES（機能的電気刺激）
リハビリテーション機器 販売

有限会社 バイオテック

代表取締役 飯塚 清美

〒010-0041 秋田市広面字碓80-1
TEL 018-837-0161
FAX 018-837-0162

高度管理医療機器販売業 第04-000026号

有限会社 秋田ブレース

義肢 装具 コルセット 車椅子各種杖

〒019-2621
秋田県秋田市河辺諸井字野田96-5
TEL / FAX 018-882-2116

患者さんの
Quality of Lifeの向上が
テイジンの理念です。



TEIJIN

帝人ファーマ株式会社 帝人在宅医療株式会社
〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号
PAD(XX)NAC(TB)1201

(社)日本義肢協会
登録・東北119号

厚生労働省指定工場

義肢・装具・コルセット・車椅子・各種杖

株式会社 佐々木義肢製作所

代表取締役 佐々木 和憲

本社 〒980-0801 仙台市青葉区木町通二丁目3-3(木町通小学校前)
TEL (022) 274-1181(代) FAX (022) 274-1183
支店 〒010-0973 秋田市八橋本町二丁目7-1
TEL (018) 862-7204(代) FAX (018) 862-9347
〒036-8227 弘前市大字桔梗野二丁目16-12
TEL (0172) 33-1150(代) FAX (0172) 33-1153

厚生労働省指定工場

社団法人日本義肢協会登録・東北101号

(株)千秋義肢製作所

代表取締役 佐々木 雅伸

義手・義足・装具・車椅子・リハビリ用品

秋田市新屋豊町1-22

TEL 018-823-3380 FAX 018-862-5126